

三好市で滞在型農業体験



NPO法人「ふるさと力」が定住促進を目的に三野町加茂野宮に建設した、滞在型市民農園の開設記念式典が9月3日に行われました。

「三好タウン愉流里」と名付けられた施設は、農園と管理棟、レクリエーション施設が併設され、11区画ある木造宿泊施設では都市部の方が1年単位の契約で農作業を楽しむことができます。すでに6区画の入居が決まっており、家庭菜園付の分譲住宅も9区画完売し、これからも順次増設されるそうです。

被災者へ寄付金



池田婦人会（池田町日赤奉仕団）より、岩手・宮城内陸地震等の災害義援金として、へそっ湖まつりなどのイベントや、各地区婦人会の協力により27万円が日本赤十字社徳島県支部三好地区に寄付されました。石川会長はじめ13名の方が三好市役所を訪れ、寄付金が伊市長に手渡されました。

この義援金は、日本赤十字社に送金し、地震等の災害に見舞われている地域で、有効に活用させていただきます。

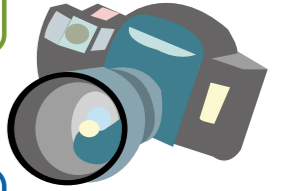
全席シートベルト着用を



三好地区安全運転管理協議会の主催で、シートベルトコンビンサー体験が9月9日に市役所前などで行われ、約200人が体験しました。

シートベルトコンビンサーとは、時速5kmの速さで衝撃を受けたとき、また衝撃時のエアバック体験ができる車です。時速5kmという衝突スピードですが、体験者はその衝撃にびっくりした様子でシートベルトの大切さを実感していました。ルールを守ってシートベルト着用100%を目指しましょう。

まちかど フォト ニュース



おもしろいこと、珍しいもの、
どんなことでもいいので耳より
な情報をお知らせください。

三好市役所 秘書広報課
☎0883-72-7646

箸蔵街道を歩こう

「美しい日本の歩きたくなるみち500選」にも選ばれている、箸蔵街道を歩くウォーキングのイベントが徳島県ウォーキング協会の主催で、9月28日に開催されました。箸蔵街道は、讃岐の金刀比羅宮と阿波の箸蔵寺を結ぶ信仰の道として栄えた旧街道で、阿波と讃岐との交易に重要な役割を果たしてきました。

約200人の参加者は香川県のJR讃岐財田駅に集合し、約11kmのコースを6時間かけて箸蔵山麓まで歩きました。初秋の1日を、往時を偲びながら心地よい汗を流していました。



100才おめでとうございます



9月27日、長内林平さん（池田町三縄）が100歳のお誕生日を迎えられ、市や県から祝状や記念品が、また「敬老の日」に併せて内閣総理大臣からの祝状が贈呈されました。

長内さんは現在もご自宅で生活されており、この日もご家族に囲まれて100歳の到達をお祝いしました。長内さんは早寝早起きに三食の食事と、規則正しい生活を送られているそうで、それが長寿の秘訣ではないかとおっしゃっていました。これからも元気で過ごしてください。

池田と池田の交流



9月20日、三好市池田町と大阪府池田市との交流ソフトボール大会が、吉野川運動公園で開催されました。これは、1985年から21年間続いた全国池田サミットでスポーツ交流していた三好市池田町ソフトボール連合会の方たちが、全国池田サミット解散後もソフトボールで交流しようと開催されたものです。

一般男子、シニア、レディース、の試合が行われ、全部で約180人の選手が出場し、より一層の交流を深めることができました。

手作りのお社を奉納



山城町下名地区の大山祇神社に新しいお社が奉納されました。新しいお社は、地元で農業を営む吉川易さんが、知り合いの宮大工さんからけやきなどの材料をもらったことをきっかけに、農閑期に約70日かけて手作りで制作したもので、農家の方が制作したとは思えないほど大変立派なお社です。

神社の祭日である9月9日、氏子18人の手によって道路から100mほど登った神社に新しいお社が運ばれ、神事が行われました。

かかしが交通安全啓発



9月21日から30日までの10日間、秋の全国交通安全運動が実施されたことの一環として、三好地区交通安全母の会と交通安全指導員が、警察官のかかしを作成し、三好警察署前に設置しました。

この運動は、東祖谷で人気の手作りかかしに注目し、「かかしの里」の綾野さん指導のもと作成したものです。設置されたかかしは警察官にとってもそっくりで、道を走るドライバーに対して、とても効果的だったと思います。

大きな緑のカーテン



西岡小学校(西祖谷山村)ではゴーヤを育て、緑のカーテンをつくりました。4月の末に植えた苗は9月には幅23m・高さ8mになり、校舎の3階まで届きました。

ゴーヤは地域の方との共同作業でお世話をし、約300個収穫できました。そして、それを地域の方に配ったり、一緒に試食会でゴーヤチップスやゴーヤてんぷらを作るなどして美味しくいただきました。ゴーヤが満腹感と、快適な授業と、地域の方々との交流を与えてくれました。

めざせオリンピック



文部科学省と財団法人日本体育協会による「子どもの体力向上キャンペーン」の一環として、トップアスリート派遣指導事業レスリング教室が9月3日に池田総合体育館で開催されました。

この日は、女子レスリングで元世界チャンピオンの吉村祥子さんが指導してくれました。小学生から高校生の参加者ら約20人は、トップアスリートの指導を受けられるという滅多にない機会に、レスリングの楽しさを体験しました。